

「家での学習(家庭学習)」のすすめ

札幌市立八軒小学校 2026. 3

八軒小学校では、全学年・学級で、家庭学習を行っています。低学年は“練習をする内容のプリント”や“保護者の方に読む練習を聞いてもらうもの”などを宿題として、ほぼ毎日、取り組んでいます。高学年になると、宿題とは別に、自分で内容を考えて行う自己学習にも取り組んでいます。

<低学年>	<中学年>	<高学年>
主にプリント等(2年はノートも)	プリント+ノート	プリント+ノート(自己学習)
家庭で勉強する習慣を身に付ける。生活のリズムを作る。	その日の授業内容を再度確かめたり、繰り返し練習したりする。	自分に必要な学習は何かを考えて学習する。何が分からないかが分かる。

全国学力・学習状況調査の過去の結果から、学力と学習・生活環境は大いに関連性があり、『学力は家庭学習で確実に身に付く』ということが分かってきました。小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えます。

今年度も、家での学習(家庭学習)を続けていきますので、ご家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。

学年×10分の集中を!



<家庭学習の取り組み方>

- ① 家庭学習は、とにかく毎日こつこつ続けることが大切です。習い事やお出掛けなどで予定が組みにくい日もあると思いますが、家族で話し合って、時間や場所を決めて実行してください。
- ② 学力を伸ばすためには、集中して取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して学習することが長続きのこつです。
『学年×10分』の集中を目安にしてください。
- ③ テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果がありません。静かに学習できる環境を作るのは保護者の役目です。
- ④ 漫画やゲームなど気が散るようなものが近くにあっては学習に集中できません。保護者の目が行き届き、本人が安心して落ち着いて集中できる環境作りが大切です。
- ⑤ 保護者や教師が、子どもの頑張りや努力を認め、褒めたり励ましたりすることにより自信が付き、進んで学習しようという意欲も高まります。

<家庭学習の例>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低 学 年</p>	<p>①宿題をすませる。 ⇒ ②テストやプリントをやり直す。 ⇒ ③自分の勉強もしてみる。</p> <p><国語> ◇音読する。 ◇日記や詩などの短い文を書いてみる。 ◇漢字の練習をする。 ◇いろいろな本を読む。(読んだ本の記録を書くとさらによい。)</p> <p><算数> ◇計算の練習をする。 ◇教科書やドリルの問題をもう一度やってみる。</p> <p><生活> ◇家族のために、毎日、家の仕事(お手伝い)をする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中 学 年 ・ 高 学 年</p>	<p>①宿題をきちんとすませる。 ⇒ ②テストやプリントもやり直す。 ⇒ ③自己(自分)学習にも取り組む。</p> <p>※中学年では、宿題のプリントしながら、先生と一緒に自己(自分)学習の内容や取り組み方を覚え、取り組んでいく。 ※高学年では、自分に必要な学習を考え、自主的に自己(自分)学習の内容を考え、取り組んでいく。</p> <p><国語> ◇その日の学習をまとめ直す。(教科書やノートを見て、もう一度ノート作りをする。) ◇教科書の本文をノートに書き写す。 ◇漢字ノートを作る。漢字の練習をする。 ◇意味の分からない言葉を調べる。 ◇新しく学習した言葉で文を作る。 ◇詩や短い作文を書いたり、暗記して声に出したりする。 ◇音読する。(どんなふうに読みたいのかを伝えて、聞いてもらう。)</p> <p><算数> ◇その日の学習をまとめ直す。(教科書やノートを見て、もう一度ノート作りをする。) ◇教科書やドリルの問題をもう一度やってみる。</p> <p><社会・理科> ◇その日の学習をまとめ直す。 (教科書やノートを見て、もう一度ノート作りをする。) ◇図鑑やインターネットで調べたことをまとめる。 ◇新聞やニュースで分かったことをまとめる。 ◇調べてみたい土地や人物についてまとめる。 ◇オリジナルの地図や年表を作る。 ◇新聞やニュースで分かったことをまとめる。</p> <p><その他の教科> ◇家庭科で学習したことを実践する。(記録化するともっとよい)</p>